

NEWSLETTER #109

会員の受賞報告

p.1 青木深会員のデヴィッド・ティーレン賞受賞.....細川周平

information

p.2 事務局より

会員の受賞報告

細川周平

青木深会員のデヴィッド・ティーレン賞受賞

青木深会員が『ポピュラー音楽研究』16号に発表した「エキゾティズムを歌う——進駐軍ソングとしての『支那の夜』と『ジャパニーズ・ルンバ』をめぐる歴史人類学的研究」がアメリカ歴史家協会

(Organization of American Historians) よりデヴィッド・ティーレン賞 (David Thelen Award) を受けました。おめでとうございます。これは1985年から15年間、Journal of American Historyの編集者を務めた人物を記念し、1994年よりほぼ2年おきに「アメリカ史の視野を広げた独創的な業績」に与えられ、英語以外で書かれた論文が対象となります。「大半のアメリカ人読者がめったに出会うことのないアメリカ合衆国についての考え方・書き方」を提示したことが評価され、日本語論文の受賞は初めてです。審査員の言葉を要約すると、「アメリカ兵がどのように日本文化を体験し楽しみ、共有しようとしたのかを歌を通して語っているのが良い。感情の歴史家として、著者は異国趣味が植民者・占領者の道具であるに留まらず、もっと人間的なレベルで楽しみを与え、文化を越えた出

会いを実現することを示した」。副賞の一部として、対象論文が上の学会誌に翻訳されます。

青木会員の論考は『めぐりあうものたちの群像—戦後日本の米軍基地と音楽1945-1958』(大月書店、2013)の延長で、駐屯中のG Iがいわゆる「進駐軍ソング」のなかでも戦前の「支那の夜」、戦後の「ジャパニーズ・ルンバ」を特に愛したことをどう説明するか、ということから論を展開します。それは異国情緒の喚起というばかりでなく、日本女性を誘う際のきっかけとして利用し、自ら歌う楽しみも見出したことを多数のインタビューと録音・出版記事から掘り起こしました。同書が2013年度サントリー学芸賞を受賞したのに続いて、派生論文がアメリカで評価されたのは大変嬉しい。めったにないダブル受賞ではないでしょうか。イタリア、ドイツ、韓国など米軍基地が戦後の音楽文化の隠れた拠点となった国は他にもあります。そこにもこのような特別な意味を持たされたお気に入りの歌があったのかどうか、興味が広がります。

(細川周平)

事務局より

1. 学会誌バックナンバー無料配布について

現在、JASPM 学会誌『ポピュラー音楽研究』Vol.1～Vol.11のバックナンバーは、そのすべての記事が、科学技術振興機構のオンラインサービス、J-STAGEにおきまして無料で公開されております。

(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaspm1997/-char/ja/>)

そのため、事務局に所在する Vol.11 までの冊子体のバックナンバーを、希望者の方に無料で配布しております(ただし送料はご負担いただきます)。

在庫については学会ウェブサイトの「刊行物」のコーナーに随時記載しておりますので、配布を希望される方(非学会員の方でも結構です)は事務局にお問い合わせください。また、ネット上で内容が全文公開されていない Vol.12 以降のバックナンバーについては、引き続き通常の販売を行い、無料配布の対象とはいたしません。ご注意ください。

2. 原稿募集

JASPM ニュースレターは、会員からの自発的な寄稿を中心に構成しています。何らかのかたちで JASPM の活動やポピュラー音楽研究にかかわるものであれば歓迎します。字数の厳密な規定はありませんが、紙面の制約から 1000 字から 3000 字程度が望ましいです。ただし、原稿料はありません。

また、自著論文・著書など、会員の皆さんのアウトプットについてもお知らせ下さい。紙面で随時告知します。こちらはポピュラー音楽研究に限定しません。いずれも編集担当の判断で適当に削ることがありますのであらかじめご承知おきください。

ニュースレターは 86 号(2010 年 11 月発行)より学会ウェブサイト掲載の PDF で年 3 回(2 月、5 月、11 月)の刊行、紙面で年 1 回(8 月)の刊行となっております。住所変更等、会員の動静に関する情報は、

紙面で発行される号にのみ掲載され、インターネット上で公開されることはありません。PDF で発行されたニュースレターは JASPM ウェブサイトのニュースレターのページに掲載されています。

(URL : <http://www.jaspm.jp/newsletter.html>)

2013 年より、8 月の紙媒体での発行号については、会員の動静に関する個人情報を削除したものを、他の号と同様に PDF により掲載しております。

次号(110 号)は 2016 年 11 月発行予定です。原稿締切は 2016 年 10 月 20 日とします。また次々号(111 号)は 2017 年 2 月発行予定です。原稿締切は 2017 年 1 月 20 日とします。

2011 年より、ニュースレター編集は事務局から広報担当理事の所轄へと移行しております。投稿原稿の送り先は JASPM 広報ニュースレター担当(n1@jaspm.jp)です。お間違えなきようご注意ください。ニュースレター編集に関する連絡も上記にお願いいたします。

3. 住所・所属の変更届と退会について

住所や所属、およびメールアドレスに変更があった場合、また退会届は、できるだけ早く学会事務局(jimu@jaspm.jp)まで郵便または E メールでお知らせください。

ご連絡がない場合、学会誌や郵便物がお手元に届かないなどのご迷惑をおかけするおそれがございます。

例会などのお知らせは E メールにて行なっております。メールアドレスの変更についても、速やかなご連絡を事務局までお願いいたします。

JASPM NEWSLETTER 第109号

(vol. 28 no.3)

2016年 9月 2日発行

発行：日本ポピュラー音楽学会 (JASPM)

会長 細川周平

理事 粟谷佳司・井手口彰典・大山昌彦・小川
博司・東谷護・長尾洋子・
伏木香織・輪島裕介

学会事務局：

〒565-8532

大阪府豊中市待兼山町1-5

大阪大学大学院文学研究科音楽学研究室

輪島裕介研究室内

jimu@jaspm.jp (事務一般)

nl@jaspm.jp (ニューズレター関係)

<http://www.jaspm.jp>

振替：

00160-3-412057 日本ポピュラー音楽学会

編集：平石貴士